



# 南風

新潟県 佐渡市立  
南佐渡中学校  
学校だより



令和5年11月1日発行 No.65



中学生「税についての作文」コンクール  
関東信越国税局長賞 風間 美希  
佐渡市長賞 高野 碧

## 祝 創立 10 周年

校長 土屋 雅朗

先月21日に「創立10周年記念行事・文化祭」を開催することができました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。本号では、記念行事関係をまとめてご紹介させていただきます。

### ■ 記念式典

令和5年10月21日

【開会のあいさつ】

PTA会長 木下 幸一



本日は、南佐渡中学校創立10周年の記念行事・文化祭・記念式典の開催にあたり、来賓の皆様をはじめ多くの地域の皆様にご臨席いただき、PTAを代表して心よりお礼申し上げます。

本校が創立10周年を迎えるにあたり、これまでの歴史を振り返るとともに、これからの歴史を作る生徒たちの活躍を目の当たりにしてきました。地域行事や祭りへの参加をとおして、活気あふれる想像力を地域の皆様へ披露してきたことは、校風を地域の皆様知っていただくよい機会になっています。この伝統が本校の誇りであり、この先ずっと歴史を積み重ねていただきたいと強く願っています。

最後になりますが南佐渡中学校のますますのご発展と本日ご列席いただきました皆様のさらなるご活躍を祈念いたしまして、簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。

【式辞】

南佐渡中学校長 土屋 雅朗



実りの秋ととせ過ぎたる節目よりさらに飛躍の南佐渡中

本日この佳き日に、佐渡市教育長 香遠正浩様、初代校長であられる知本康悟様、また6年間という長き年月に校長を務められました吹屋昇様をはじめ、変わることなく学校を応援してくださる南佐渡地域の皆様、保護者の皆様及び関係の皆様方の御臨席を賜り、創立10周年記念式典を挙げていきますことに、心から感謝申し上げます。

さて、平成26年4月に県内では、はじめて旧市町村をまたぎ、小木中学校、羽茂中学校の統合校として南佐渡中学校が創立いたしました。創立以来、国の重要伝統的建造物群保存地区の宿根木観光案内や南佐渡の地域に根付いている万葉制作など、地域の皆様と共に特色ある教育活動が展開され、温かで豊かな心が耕されてきました。「実直」で「誠実」な生徒たちは、その期待に応え、皆様方に支えられながら、文武両道を極めていきます。本日、創立10周年の節目を迎えたことでさらに強く、たくましく成長してもらいたいと願っています。

これからも本校の教育目標である「自尊 共生 創造」の達成に向け、新たな時代に向かって引き続き、「南佐渡の地域と共に歩む学校づくり」を進めてまいります。これまでの御協力に心から御礼申し上げますとともに、引き続き御支援・御指導を賜りますようお願い申し上げます。

【祝辞】

佐渡市教育委員会教育長 香遠 正浩 様



本日、佐渡市立南佐渡中学校の創立10周年を記念する栄えある式典で、多くの学校関係者並びに南佐渡中学校区の皆様と共に喜びを分かち合えることに感謝し、佐渡市教育委員会としてお祝いを申し上げます。

当校は、平成26年の創立以来、歴史と文化の薫る佐渡南部のこの地において、伝統の継承と創造を中核に据え、地域の方々と手を携えて教育活動に取り組んでおられます。

南佐渡万葉の発刊、宿根木観光ボランティアガイド、総踊りなどは、その最たるものであります。

また、恵まれた教育施設の下、スポーツにおいても素晴らしい成果を収め、陸上競技や駅伝大会、さらにはソフトテニスをはじめとする球技においても数々の栄誉を収めてまいりました。

文武両道を目指して着実に歩み続け、今日の輝かしい伝統と発展を築いてこられたことは、学校関係者のみならず、多くの方々から高く評価されているところであります。

これもひとえに、歴代の校長先生はじめ、諸先生方の真摯なご努力と学校を支えてこられた保護者並びに地域の皆様方の絶大なるご理解とご協力の賜であり、心より敬意を表するものであります。

そして現在も、教育活動全般において「自尊 共生 創造」という教育目標達成に向けて意図的・計画的に取り組んでおられ、在校生は日々学び、成長しています。

2年後には、赤泊中学校と統合し、さらに活気あふれる学校へと発展する未来が待っています。

今後も、学校・保護者・地域が一体となって、さらなる連携が推進されますようご期待申し上げます。

佐渡市教育委員会といたしましても、これまで教育環境の整備・充実に努めてまいりましたが、今後も本市の教育基本理念であります「明日の佐渡を創る人、世界と共に生きる人の育成」の実現に向け、皆様に信頼される素晴らしい学校づくりを支援してまいります。

結びに、本記念事業を実施するにあたり、企画・運営に携わってこられました学校職員、保護者並びに地域の皆様方のご尽力に対し心から感謝を申し上げますとともに、南佐渡中学校のますますのご発展と生徒一人一人の健やかな成長、そして本日ご参会の皆様のご健勝を祈念申し上げ、祝辞といたします。

【喜びの言葉】

生徒会長 木下 遥斗



南佐渡中学校創立10周年おめでとうございます。この創立10周年という節目の年に私自身が歴史を刻む担い手の一人になれたことをとても喜ばしく思います。

私たちが先輩から代々継承してきた伝統である総踊りは、体育祭や文化祭などの学校行事をはじめ、地域の祭り等で披露しながらとても大切にしている活動のひとつです。

また、学年関係なく仲良くできることや気軽に話せる先生方がいるのも南佐渡中学校の良さだと感じています。

校歌の歌詞にある「森は緑 風雪を超え」「海は青 ときを超え」は豊かな自然に抱かれながら生徒一人一人が成長し、日々の学校生活を過ごす思いが込められています。

このような素晴らしい環境で学ぶことができる南佐渡中学校が、これからも日々成長し続け、愛される学校であり続けることを願っています。

佐渡市立  
南佐渡中学校  
創立10周年  
記念行事  
文化祭



日時  
令和5年 10月21日(土)  
9:00 ~ 15:40

会場  
南佐渡中学校体育館

- 伝統芸能発表 9:00~9:40
- リコーダー部演奏 9:50~10:00
- 吹奏楽部演奏 10:00~10:15
- 生徒会企画 10:30~11:20
- 記念合唱 12:30~13:10  
1年「マイバード」  
2年「瑠璃色の地球」  
3年「愛にできることはまだあるかい」  
全校「時を越えて」
- 記念式典 13:20~14:00
  - 開会のあいさつ  
PTA会長 木下 幸一
  - 式辞  
校長 土屋 雅朗
  - 祝辞  
佐渡市教育長 香遠 正浩様
  - 喜びの言葉  
生徒会長 木下 遥斗
  - 回顧談  
初代校長 知本 康悟様  
2代校長 吹屋 昇様
  - 閉会のあいさつ  
PTA副会長 高野 康栄
- 記念講演・活動 14:10~15:20
  - 演題  
夢に向かって(仮題)
  - 講師  
当日発表!!
  - 活動
- 記念撮影 15:20~15:30
- 記念総踊り 15:30~15:40



生徒の皆さん、そして、保護者、地域の皆様、こんにちは。知本康悟と申します。

南佐渡中学校創立10周年、本当におめでとうございます。10周年という節目、そして、再来年には、赤泊中学校と統合し、南佐渡中学校としての新たな第一歩を踏み出そうとしているこの時、創立した時に君たちの先輩である生徒たちが、どんな願いをもって、この中学校を創ろうとしたのか、その一端でもお話をできればと思います。

学校の主人公は、君たち生徒です。創立した年の生徒会は「飛翔～挑戦の年～」というスローガンを掲げました。飛翔というのは雄々しく飛び立つということ、生徒たち、南佐渡中学校が出発をするということです。それでは、生徒たちは何に挑戦しようとしたのか。歴史と伝統を個性の違う2つの中学校がひとつになって、新しい中学校を創ります。それはとても大変なことであるという以上にとっても豊かで、夢のある挑戦だったわけです。

生徒たちの願いは、ひとつひとつの行事を自分たちの手で作り出していくことをとおして、少しずつ実現をしていったと思います。2つの大きな節目がありました。

1つ目は、体育祭です。本気で競い合い、本気で応援をし、本気で踊る、本気は楽しいという生徒たちの意気でグラウンドは満たされていました。今では想像できないと思いますが、開校した年にはこの体育館はもちろん、グラウンドもまだ完成していませんでした。体育祭は、今は畑にかわっている旧羽茂中学校のグラウンドで行われたんです。それでも、生徒たちは、自分たちこそが第1回目の体育祭を創る開拓者なんだという思いがあったと思います。先ほど生徒会長の話にもありましたが、総踊りを2つの軍が1つになって、グラウンド狭しと踊る姿は本当に感動的でした。

2つ目は、市の音楽発表会につながる全校合唱の取組です。命と平和の尊さを伝える合唱が、アミューズメント佐渡を感動で包み込みました。応援に来てくださった保護者の皆さんから、「とても感動しました。ありがとうございました。」という言葉をいただいたのを今でも覚えています。運動面での佐渡でのデビューというのは、市の陸上大会であり、文化面でのデビューというのは、市の音楽発表会が最初です。あの生徒たちは、精一杯の歌声で、ここまで共に南佐渡中学校を創ってきたという思いを全校合唱に込めて、歌いあげてくれました。「南佐渡中学校ここにあり」という、本当に誇らしい姿でありました。

皆さん、頭の中に踊りの場面や合唱の場面を思い描いてみてください。隣に仲間がいて、ハーモニーを響き合わせることで、仲間と心と体を開き合って、命の鼓動のようなものを感じながら、そして、そういう仲間が自分の隣にいて、好きだなんて思えること、そして、そんな南佐渡中学校がいいな、好きだなと思えること、これが学校教育目標に掲げている、「自尊 共生 創造」という姿です。最初の、創立した年に、生徒たちが追い求めていた学校の姿なんです。この3つの教育目標というのは、これからも、時代を生きる力として、君たちにつけてもらいたいという思いを込めて作られたものです。大人になっても思い出してください。きっと、君たちのどこかで支えてくれるはずですよ。

それから、校歌についてのお話をします。この校歌を作られたのは、日本でも著名な篠笛奏者の狩野泰一さんです。校歌の1番「しなやかな体で仲間とともに遊び育つここは森」とあります。これは、教育目標でいうところの「共生」です。それから、「柔らかな心で先人たちに学び作るここは海」と2番で歌います。これは、「創造」です。生徒会長の話にもありましたが、海と森というのは、命の源であるわけです。私は、狩野さんと何度も校長室でこの校歌を作るにあたって話し合いをしました。その中で狩野さんが、「空から南佐渡を見ると本当に青と緑なんです。この2つは外せないですよ。」と言うんです。狩野さんは、豊かな南佐渡の自然、歴史を頭に描きながら、「自尊 共生 創造」という教育目標に込められた願いを、素敵な歌詞とメロディにして作っていただきました。ロズさめるような、素敵な校歌だと思います。君たちが20歳になった時、60歳になった時、この校歌を肩を組み合って、歌うことができるなら、とても幸せなことじゃないかなというふうに思います。

先ほど「自尊 共生 創造」を育む、学校、それは南佐渡中学校だという話をしました。創立した年に築いた先輩たちの思いが、今日、君たちの合唱をとおして答えになって、出ていたと思います。とても感動しました。先輩たちが築き上げてきたものを、ただ引き継ぐだけでなく、今の君たちにしかできない歌声にして、しっかりと歌い上げているなと思いました。3年生が、「愛にできることは、そして、僕たちにできることは」と歌の中で問いかけていました。こういう歌声が、今、世界に届けばいいなと、日本は大丈夫かもしれないと本当に思いました。頼もしい10年目の姿であったと思います。

最後に、「南佐渡中学校あるある」という話を簡単にします。南佐渡中学校には、全国に誇りうる学校文化というものが実は3つ引き継がれています。ここでは申しませんが、校長先生から、全校朝会などでその答えは聞いてください。それでは、遠いところにいますが、南佐渡中学校のますますの発展と、何よりも、君たちのこれからの活躍を祈っています。頑張ってください。



皆さん、こんにちは。6年間この学校の校長を務めさせていただいた吹屋昇と申します。まずもって、10周年の記念式典開催、誠にありがとうございます。そして、このような式典にお招きいただきありがとうございます。

ここから先、生徒向けにお話をさせていただきたいと思います。創立10周年ってことは、この学校ができた時、みんないくつでしたか？3年生はたぶん4歳か5歳、1年生は2歳か3歳だと思います。ということは、生まれたら、もう既にこの学校はありましたね。では、当時の先輩方は、この学校ができたことをどういうふうに思っていたのか、先輩方の言葉で皆さんに紹介したいと思います。2人の生徒会長の言葉、一部だけですが、読みたいたと思います。

まず1人目。この学校の第2代の生徒会長、新井君という生徒です。先ほど知本先生のお話にあったように、この学校のグラウンドや体育館が全部整って完成したのは2年目のことです。みんなで完成を喜び合うその式典を「竣工式しゆんこうしき」と言います。これからお話しするのは、この「竣工式」での新井君の言葉です。「思い起こせば、昨年4月、南佐渡中の真新しい校舎に入りました。木のぬくもりを感じる教室、教室の隣の広いワークスペース、そして、冷暖房付きのランチルーム、ピカピカのトイレ。全てが新しく、新鮮な気持ちで学校生活がスタートしました。残念だったのは、体育館とグラウンドが未完成だったことです。」とあります。そして、この新しい校舎に対して、彼は最後こう結んでいます。「この南佐渡中がスタートするために、本当にたくさんの方々の力が結集し、今日に至ったことを私たちは決して忘れません。関係者の皆様に136名全員の生徒を代表し、感謝を申し上げます。この学校は、まだ歩み始めたばかりです。わずか1歳と数か月の子供です。私は8か月後には卒業します。卒業しても20年後には自分の子供、そして、40～50年後には孫の代まで、この校舎やグラウンドが使えたら最高だと思います。」と喜びを謳っています。今日この学校に入った時、変わらず綺麗だなと思いました。大事に使ってくれてありがとう。新井君に成り代わってお礼申し上げます。これからもよろしくお願ひします。

2人目。これからどんなことを大事にしてこの新しい学校の伝統を築いていこうか。当時の生徒たちは考えました。この中で4代目の会長、佐々木君が卒業式で述べていた言葉です。「今年度、春の生徒総会で先生から、『リーダーとなる3年生は、主体性をもって学校生活を送ってほしい。』と言われました。この言葉を受けて、この1年間、僕たちがあらゆる場面で主体性を追究してきました。自ら考えて行動することの難しさを感じながらも、全員で協力しながら多くの困難を乗り越えてきました。そして、その度に伝統が築かれ、絆が深まり成長することができました。」とあります。主体性と似た言葉に自主性があります。当時、私は生徒たちにこのように言いました。「自主性っていうのは、やることは決まっている。その決まっていることに自分から取り組む態度。テストがある。範囲が決まっている。その範囲を自分が取り組む。主体性というのはもうちょっと難しく、成功のために何をすべきかをまず自分で考えること。そのことに自ら取り組むこと。これが主体性だよ。」と言って、その後ずっと私がいる間は、本当に生徒、職員共に頑張ってくれました。

今日の合唱もどういう音楽をしたいのか、そのためにはどうすればいいかを考えて練習を重ねてきたものと思います。感動しました。

10周年記念おめでとうございます。でも、これは通過点です。再来年には、赤泊中が一緒になって、新しい伝統が創られます。その伝統を創っていくのは、少なくとも1年生、2年生の皆さん、そして外から見守るその3年生の皆さんだと思います。終わりではなく、ある意味スタートです。これからもぜひ頑張ってください。遠くから見守っています。今日は本当におめでとうございます。



本日はたくさんの皆様にご参会いただきまして、ありがとうございました。また、お忙しい中、香遠教育長様、歴代の校長先生様、ご臨席いただきました会場の皆様、誠にありがとうございました。

私は、旧小木中学校の卒業生です。私が中学3年生の時に小木中学校創立50周年記念式典が行われまして、全校で合唱したことを覚えております。また、こうして、南佐渡中学校創立10周年の記念式典に参加できたこと、本当に嬉しく思います。今日、皆様の文化祭、合唱、本当に素晴らしかったです。本当に感動いたしました。南佐渡中学校が、この先、20年、30年と素晴らしい歴史、伝統を引き続き築いていくこと、また、地域に愛され続ける学校であることを祈念いたしまして、閉会の挨拶とさせていただきます。

## 講師：YouTuber けえ【島育ち】氏 本校第3回卒業生



「さーどーがーしーまー」YouTuberのけえ【島育ち】です。

はじめに自己紹介をします。僕は、けえ【島育ち】の名前でYouTuberの活動をしています。僕は、一番はじめの南佐渡中学校の1年生で、7年前に卒業しました。今は大学4年生で、超強豪ジャンルで、めちゃくちゃライバルがいる佐渡ヶ島系(?)YouTuberとして活動しています。今では、登録者(島録者)が45万人いて、総再生回数は、3.10億回を先日突破しました。どんな感じの動画を上げているかを紹介すると、叫んだり、踊ったり、漕いだり(?)するYouTuberをやっています。

ためになる話をしてほしいと言われたので、「僕がYouTubeで人生を変えられた理由」を今日のテーマに設定しました。

YouTubeを始めた当初、めちゃくちゃ迷走していて、何やっても10回再生とか、数回再生とかでした。でも少しずつみんなに見てもらえるようになって、登録者が45万人まで増えた。それは、「自分の信念を貫くことの大切さ」を学んだからです。僕がどんなふうにしてそれを学んだかというところを、僕の生い立ちなどと併せて話していこうと思います。

### ■ エピソード1「僕の生い立ち」

まず皆さんと同じ中学生時代、ひと言で表すと「変人」でした。今もそうですがね…(ここは笑うとこね。)中学時代のやらかしたエピソードを紹介します。

まず1つ目「英語のテストで8点を記録(中1の時)」。中1の平均点がめちゃくちゃ高かった中、やらかしてしまいました。

続いて、「方向音痴すぎて駅伝大会でコース間違えをする(しかも2回)」です。顧問の先生にめちゃくちゃ怒られた思い出があります。

次は「文化祭などですべりまくる」です。今日みたいな感じで中学生の時もすべっていました。

中学生の僕は、「興味をもったことは全部やろう!」と考えていました。例えば、ソフトテニス部の部長、駅伝部の部長、あと生徒会の議長もやっていました。いろいろやりたいなと思い挑戦していました。意外かもしれませんが、一応勉強もしていました。ある時、「文武両道になったら、めちゃイケメンじゃね?」「もてるんじゃない?」って思いまして、そこから僕は急に、休日1日8時間とか勉強するようになりました。定期試験で500点満点中470点とったり、あと実力テストで420点とったり、それぐらいまで成長しました。でも、もてるようにはならなかったです。(笑)

学んだことは「興味をもって本気で取り組めば何でも人並みの結果は出せる。」ということです。だから、今、勉強が嫌いな人たちがいたとしたら、もてるかはわかりませんが、もしかしたら1回やってみると意外と面白いかもしれません。今振り返ってみても、その時、勉強を頑張ったということは、YouTube活動にもすごく活かしているし、自信になっています。面白くないと思ったら、僕はやめてもいいと思います。でも1回は挑戦してみたいです。

続いて高校時代です。ひと言で表すと「超変人」でした。今もなんですけどね…(笑)高校に入った「けえ」は、どうなったかという勉強をやめました♥理由は、面白くなくなったからです。でも、この時も僕は「自分のやりたいことを全力でやる!」と決めていたので、勉強以外のことに熱中しました。

### どんな動画をあげてるの?



叫んだり



踊ったり



漕いだり(?)

### 最初はマジで上手いかなかった



東京駅の楽しみ方

12回視聴 3時間前



人生初! ドトルコー

ヒーに行ってみた!

45回視聴 23時間前



[Vlog] イオンが無い

島で育った超田舎者が

日本一大きいイオン...

104回視聴 5日前

### 一応勉強もしてた。

ある時...



中2のけえ

文武両道になったら  
めちゃイケメンじゃね?

それは、「テニスで全国大会を目指そう」ということです。勉強を1ミリもしないで部活に明け暮れていました。

そこで、とある事件が起きます。それは「テニス部同期いなくなる事件」です。これは、何かというと、僕を含め7人でテニス部に入部しました。しかし、3年生になって引退するときに僕1人になっていました。これは、けんかしたとかではなく、みんなは理由があってやめているし、それぞれの人生だから仕方ないですが、僕はテニスを続けたかったからやめませんでした。みんながいなくなったときは、心細かったけれど、最初に決めた「全国に行きたい。」という思いをここで諦めるのは違うと思ったので、僕一人でも続けようと思いました。

その強い意思で、僕はなんと佐渡市大会で優勝することができました。そして、出場した県大会は6位までの入賞で全国大会出場が決まります。僕は佐渡市チャンピオンなのでシード権をもっていき、この条件ですので、さすがに、ちゃちゃっと優勝して全国に行けると思いました。そんな気持ちで臨んだ結果、1回戦で1ゲームも取れずにボロボロにされて引退決定となりました。でも、自分の信念に従って、周りに流されることなくやりきったので後悔なく引退できました。

大学時代です。ひと言で表すと「超絶変人」です。今なんですけどね。僕は理学療法士を目指して千葉県の大学に進学しました。めちゃくちゃ楽しい大学生活が待っていました。

## ■ エピソード2 「なぜ僕がYouTubeをやろうと思ったのか」

友だちもできて最高の大学生活を送っていたんですが、大学2年になったときあたりから、「自分がやりたいことは本当（本島）にこれなのか…？」って思うようになりました。

テニスのことをTikTokやブログにあげてみることを始めましたが、いろいろ挑戦していく中で、全力でやらなければ、片手間でやっても意味がないと思い、そこから、何か面白いことはないかと本気で考えるようになりました。

そして、浮かんだアイデアが、佐渡ヶ島系(?)YouTuberになるということです。大学2年生の秋に思いつきました。

なぜ思いついたかです。当時、大学で友だちがたくさんできた理由は、僕が佐渡ヶ島出身だったからです。最初の授業とかで自己紹介をする時、田舎出身あるあるだと思うんですが、僕は「新潟県出身です。」と答えていました。少し恥ずかしいというか、田舎者扱いされるのが、当時の僕はすごく嫌で、佐渡ヶ島出身というのを隠していました。

その後、とある友だちに「新潟県のどこ出身なの？」と聞かれました。僕は、うわっ。ここまで聞かれたら言うしかないと思い佐渡ヶ島出身と答えました。そこから、いい意味でのいじりみたいのが始まって、島育ちだねって、友だちがどんどん増えていきました。

「佐渡にはセブンないのか…」「ローソンあるよ。」みたいな、そんな会話で楽しんでいました。そこで、今まで佐渡出身ということは何となく恥ずかしいと思っていたけれど、もしかしたら、これ、武器なんじゃないかって思うようになりました。自分が生まれ育った地元を自信をもって言えないのが、すごく嫌になりました。そして、今後、僕と同じで佐渡を出て行く人たちにも「佐渡ヶ島出身」を隠すことが続くことが嫌だと思いました。

そこで、YouTubeで佐渡を面白おかしく全力で発信することを思いつきました。佐渡出身者が地元のことを自慢できるようにしたかったからです。安易な発想でしたが、YouTubeで成功したいと思うようになりました。

しかし、そこで問題がありました。大学3年になると病院での現場が始まるから、YouTubeに専念することができないと、だから、転部して専念できる環境にする必要がありました。この楽しい大学生活を犠牲にしてYouTubeをやるということに恐怖もありました。高校のテニス部の時と逆の動きです。みんなは理学療法士を目指して残るのに、自分は一人で転部していくということで、かなり悩みました。

でも、ここで、過去を振り返りました。中学時代に勉強を頑張ったこと、高校時代に最後まで部活を続けて優勝したことを思い返しました。今回も自分の信念を貫くことで豊かな人生を送れるのではないかと思い決意しました。親に迷惑をかけることになるので、なんとしても成功することを心に誓いました。

## ■ エピソード3 「ついにYouTubeを開始」

決意して始めてから、半年間、僕のYouTubeは全然閲覧者数が伸びませんでした。さすがに焦ってきた僕は、流行の動画に手を出しているいろいろやってみたのだけれど、結局どれも全然伸びませんでした。

とある友達



新潟は新潟でも  
新潟のどこ出身？

「どうすればいいんだ…」という状況でした。諦めたほうがいいのかとも思いました。そんな時、やはり「自分の信念を曲げることはしたくない。」と思いました。YouTubeの動画も流行とか他人ウケを気にするのではなくて自分が本当に面白いと思った動画を作ろうと思いました。

そうした中で「超田舎者シリーズ」を展開できました。自分が大学生になってみて気づいた佐渡ヶ島にないものと佐渡ヶ島にしかない魅力を掛け合わせた動画を作りました。この動画が明らかに再生数が多かったため確信して、擦りに擦って150本、投（島）稿しました。自分が心の底から面白いと思える動画を作り続けた結果、登（島）録者45万人という昔の自分には考えられないような結果を出すことができました。

#### ■ エピソード4「みんなに伝えたいこと」

それは、何かに挑戦するときには「信念をもつ、そして諦めない。」ということです。

みんながこれから先、部活の大会で優勝しようとか、この高校に合格したいとか、あの子とつきあいたいとかそういう挑戦しようと思ったときに、そこには壁があると思います。それは怪我したとか、裏切られたとか、周りに馬鹿にされたりだとか、多かれ少なかれ困難にぶつかると思います。自分が今そういう状況にあるという人も、いるかも知れません。でも、そういう時に、諦めずに粘り強い人になってほしいと思います。

僕もYouTubeを始めたときに、いろいろ言われましたが、続けることができたのは「信念」があったからです。

「さーどーがーしーまー」といرونなところで叫びまくったり、バンジージャンプで佐渡おけさを踊ったり、テレビ取材を逆立ちで受けたり、周りから見たら何やってんのかと思われることも、「信念」でやり通しています。

僕なりの佐渡ヶ島の魅力の発信の仕方だと思っています。そして何より佐渡ヶ島系YouTuberとして大成功して、佐渡ヶ島の観光客数を本気で310（さど）倍にしたいと考えています。強い「信念」があるからこそ、今も楽しく続けることができています。



挑戦していく中で苦しい場面や勝負しなければいけない場面で「信念」がないとすぐに気持ちが折れてしまいます。だから、強い「信念」をもって、自分が実現したい夢に向かって、挑戦してほしいと思います。

僕もまだ夢に向かって頑張っている途中なので、ここにいる南佐渡中学校の卒業生としてみんなと一緒に頑張っていこうと思っています。みんなの夢が叶ってVIPになったら、僕とコラボしてください。ご清聴本当（本島）にありがとう（ヶ島）ございました。



この南佐渡中学校での講演の様子「佐渡ヶ島の母校の文化祭で魂の講演してみた【ドッキリ】」もYouTube（チャンネル内）にアップされています。

## ■ 記念体育祭 令和5年9月24日



## ■ 記念花火 令和5年8月26日



祝 南佐渡中 10周年

小木港祭りにて  
(尺玉・5号玉)

## ■ 記念給食 6つのメニューから投票で近日決定!

<b>① 2014年(開校当時)流行メニュー</b> <input type="checkbox"/> おにぎらず <input type="checkbox"/> わかめときゅうりの和風炒め <input type="checkbox"/> フォー <input type="checkbox"/> 牛乳 <input type="checkbox"/> みかん	<b>② 南佐渡の自然</b> <input type="checkbox"/> ごはん <input type="checkbox"/> ブリかつ <input type="checkbox"/> ゆでキャベツ <input type="checkbox"/> 宿根木のさつまいも汁 <input type="checkbox"/> 牛乳 <input type="checkbox"/> りんご	<b>③ 10周年(文字に関連)</b> <input type="checkbox"/> コーンライス <input type="checkbox"/> とうふハンバーグ <input type="checkbox"/> ツナごぼうサラダ <input type="checkbox"/> 豆乳スープ <input type="checkbox"/> 牛乳 <input type="checkbox"/> いちごのタルト
<b>④ 未来に羽ばたけ!ムキムキの体をつくるまで帰れま10!</b> <input type="checkbox"/> 味噌ごはん(枝豆ごはん) <input type="checkbox"/> 未来に羽ばたけ(とり天) <input type="checkbox"/> カクテキ <input type="checkbox"/> ムキムキスープ <input type="checkbox"/> 牛乳 <input type="checkbox"/> 豆乳プリン	<b>⑤ 佐渡の旬の食べ物(12月)</b> <input type="checkbox"/> 佐渡の旬(炊き込み)がちゃへごはん <input type="checkbox"/> 寒ブリの照り焼き <input type="checkbox"/> オータムポエムのごま和え <input type="checkbox"/> もずく汁 <input type="checkbox"/> 牛乳 <input type="checkbox"/> 佐渡産りんご	<b>⑥ 南佐渡中学校歌メニュー</b> <input type="checkbox"/> ごはん <input type="checkbox"/> ブリのグリル焼き <input type="checkbox"/> デリシャサラダ <input type="checkbox"/> とうふスープ <input type="checkbox"/> ジョア(ブルーベリー) <input type="checkbox"/> 小木みかん

食育の授業で全校生徒がメニューを考え、上記の6つにしぼりました。

## ■ 記念Tシャツ



生徒・保護者・職員 77着販売

## ■ 記念作品 令和5年10月21日

